

新製品

## 湿気反応形弾性粘着剤

## BBX909

**セメダイン株式会社**[www.cemedine.co.jp](http://www.cemedine.co.jp)

- 本書に記載している技術データは、当社規定の試験方法による実測値の一例であり、保証値ではありません。  
また、本書で紹介している用途は、いかなる知的財産権にも抵触しないことを保証するものではありません。
- ご使用に際しては、当該用途に使用することの妥当性・安全性について必ず事前確認いただき、それに伴う全ての責任と危険をご負担ください。
- 商品の誤った取扱いによる傷害及び損害については、当社では責任を負いかねます。  
ご使用になる商品の性質・使用方法が不明な場合は、絶対に使用しないでください。
- 商品の安全情報詳細については、製品安全データシート（MSDS）をご確認ください。  
MSDSの入手方法につきましては、当社営業所又はお客様相談室にお問い合わせください。
- 本書の記載内容は、当社独自の判断で変更する場合があります。

# 弾性粘着剤 セメダイン BBX 909 クリア

(試作品名:BBX-NF01)

## 一液湿気反応形アクリル変成ポリマー系粘着剤

セメダインBBX 909は当社初の一液湿気反応形弾性粘着剤で、シリコーンゴムやポリプロピレンなど様々な材料に密着し、また再剥離性の良い液状粘着剤としても使用できるともユニークな製品です。また液状のため粘着加工品のように打ち抜き加工による材料ロスや離型紙などの廃棄物が発生しない為、環境対応と大幅なコストダウンが期待できる弾性粘着剤です。

### ■特長

- |                         |         |
|-------------------------|---------|
| ①さまざまな材料に良くつき、コストダウンが期待 | 液体の粘着剤  |
| ②耐久性が良く、様々な用途に使える       | 弾性粘着    |
| ③糊残りが少なく、貼り直し可能         | 再剥離性良好  |
| ④安全でクリーン、厚塗り塗布が可能       | 無溶剤     |
| ⑤混合が不要で使いやすい            | 一液型     |
| ⑥加熱不要の省エネ               | 常温湿気反応形 |
| ⑦はみ出し部分が目立たない           | 透明性     |
| ⑧型抜きロスや離型紙等の廃棄物が発生しない   | 環境対応    |
| ⑨低分子シロキサンを含まない          | 接点障害対策  |
| ⑩酸成分を含まない               | 発錆対策    |

### ■用途

- ①シート、フィルム、薄いゴムなどの貼り合せ。
- ②PE、PP、シリコーンゴムなどの難接着材の貼り合わせ。
- ③曲面や凹凸のある部材への貼り合わせ。
- ④仮止めや貼り直しの必要な場合。
- ⑤その他、様々な材料、用途の貼り合わせに適します。

### ■使い方

- \* この弾性粘着剤は空気中の湿気と反応して強力な粘着力が発現します。
- \* 粘着力の発現は湿度・気温が高いと速く、低いと遅くなります。

(事前準備)

- ①接着する面の油、ゴミ、錆び、汚れなどをアルコールやサンドペーパー等で取り除き、よく乾燥させます。
- ②特にゴム類などは必ず接着面をサンドペーパーがけしてください。

(貼り合せ方法)

基本的には二通りの使い方がありますので状況、材料によって使い分けてください。

<基本>

- ①貼り合わせる面の油、錆、汚れなどをアルコールやサンドペーパー等で取り除き、良く乾燥させます。
- ②材料の一方に100～200 $\mu$ m程度均一に塗布し、7分以上(粘着発現時間:23°C50%RHの時)放置します。初期粘着力は放置時間(オープンタイム)が長いほど強くなります。
- ③粘着力が充分に出たら、手やローラーなどで強く押さえて貼り合せます。

<応用>

- ①しみ込みや凹凸のある材料の場合は、塗布量を多めにし、放置時間を長く取ります。
- ②PE、PP、シリコーンゴムなどの難接着材料と他材料との貼り合せの場合、これら難接着材料側に塗布してから所定時間放置後貼り合せます。
- ③強く接着したい場合は、材料の両方に塗布し、所定時間放置後早めに貼り合せ1日以上養生します。

## ■性 状

項目	代表値	試験法
主成分	アクリル変成シリコーン	
外観	淡黄色透明	目視
粘度 (Pa·s/23°C)	26	JIS K 6833
密度 (g/cm <sup>3</sup> )	0.97	同上
不揮発分 (%)	94	同上

## ■粘着性能

(JIS Z 0237 粘着テープ・粘着シート試験方法に準拠)

### 1. 粘着発現時間

環境条件	粘着発現時間
40°C65%	3分
23°C50%	7分
5°C40%	30分

基準: 180度剥離強度5N/25mm以上を発現する時間

### 2. 放置時間(オープンタイム)の違いによるはく離接着強さの変化

OT(分)	40°C65%RH		23°C50%RH		5°C40%RH	
	直後	28日後	直後	28日後	直後	28日後
3	8	16	-	15	-	9
7	12	19	6	17	-	9
30	19	21	7	20	6	9
120	20	22	15	22	9	19

被着体: PETフィルム×ステンレス  
塗布厚: 100 μm(ステンレス側に片面)塗布

\* 従来の溶媒形(溶剤・水)粘着剤とは異なり空気中の湿気によって反応し、粘着性を発現するので、放置時間(オープンタイム)を長く取るほど、より高い粘着力が得られます。

### 3. タック特性

オープンタイム条件	傾斜式ボールタック
23°C50%RH 30分後	17
23°C50%RH 24時間後	22

### 4. 保持力

被着材	ずれ(mm)/40°C	ずれ(mm)/80°C
PETフィルム×ステンレス	0	0

試験体作成方法: PETフィルムに片面塗布しオープンタイム30分後、ステンレスに貼り付け  
塗布厚: 100 μm  
接着面積: 25mm×25mm  
試験法: 1kgの荷重をかけ、各温度下に60分置いてずれた距離、またはPETフィルムが試験片から落下するまでの時間を測定。

### 5. 再はく離性(のり残り性)

被着材	結果
PETフィルム×ステンレス	全面のり残りなし

試験体作成方法: PETフィルムに片面塗布しオープンタイム30分後、ステンレスに貼り付け  
塗布厚: 100 μm  
試験方法: 50°C95%RHで14日間養生後、23°C50%RHで1日放置し、180度方向に勢い良く剥がした時の

のりの残り具合を評価。

## ■接着基本性能(参考)

- \*本粘着剤は、放置時間(オープンタイム)を取らずに張り合わせると接着剤としての性質を持ちポリプロピレンやポリエチレンなどの難接着材料を従来品より強固に接着することができます。
- \*但し、金属・プラスチックなどの非多孔質同士の接着には硬化時間が長くなりますのでご注意ください。

### 1. 180度はく離接着強さ(JIS Z 0237 粘着テープ・粘着シート試験方法に準拠)

被着材	はく離接着強さ(N/25mm)
シリコーンゴム	38
天然ゴム	35
SBR	22
クロロプレンゴム	7
ウレタンゴム	18
EPDM	11
皮革	18

試験体作成方法:各被着材料に片面塗布しオープンタイム1分後、ステンレスに貼り付け  
塗布厚:100 $\mu$ m  
試験方法:23 $^{\circ}$ C50%RHで28日間養生後測定(引張り速度300mm/min)

### 2. 引張りせん断接着強さ(JIS K 6850 接着剤-剛性被着材の引張りせん断接着強さ試験方法に準拠)

被着材	接着強さ(N/mm <sup>2</sup> )
ステンレス	0.65
アルミ	0.64
銅	1.83
ABS	1.53
ポリカーボネート	1.53
アクリル	2.49
硬質塩ビ	1.53
スチレン	0.62
6-ナイロン	1.08
ポリプロピレン	1.36
ポリエチレン	0.83
POM	0.39
PPS	0.62
FRP	1.47
ガラス	1.21
合板	1.00

塗布厚:100 $\mu$ m(片面塗布)  
試験方法:オープンタイム1分後に貼り合せ、23 $^{\circ}$ C50%RHで28日間養生後測定(引張り速度50mm/min)

## ■標準塗布量

m<sup>2</sup>当り(あくまで目安としてください)

被着材 塗布方法	非多孔質	非多孔質	多孔質	凹凸面下地
	× 非多孔質	× 多孔質	× 多孔質	
両面塗布	90~110ml	110~130ml	150~180ml	—
片面塗布	90~110ml	110~130ml	150~180ml	200ml以上

- ・接着する材料、表面状態により異なりますが、110~180ml/m<sup>2</sup>が標準です。
- ・あまり厚く塗りますと初期粘着力の発現が遅くなります。初期粘着力を確保するためには塗布厚み100~200 $\mu$ m(100~200ml/m<sup>2</sup>)が良好です。

## ■使用上の注意事項

- 本製品は硬化する接着剤ではありません。高温環境や反発の強い材料やザラザラした面では剥がれが生じる場合があります。
- 粘着力の発現は湿度・気温が高いと早く、低いと遅くなります。
- 粘着力が出る前に貼り合わせると材料のズレやコーナ一部分の剥がれが生じる場合があります。
- フッ素樹脂・フッ素ゴム、ポリアセタールなどにはあまりよくつきません。
- 重量物、貴金属、高価な物および食器などには使用できません。

## ■取扱上の注意事項

詳細は、当社ホームページ掲載の製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

- ①体質によりかぶれる事があるので、皮膚に触れないようご注意ください。
- ②皮膚に付着した場合はすぐにふき取り、石けんと水で洗い落としてください。
- ③衣服に付くと取れないのでご注意ください。
- ④換気を十分に行なってください。
- ⑤火気のあるところでは使用しないでください。
- ⑥子供の手の届かないところに保管してください。
- ⑦湿度の少ない冷暗所に保管し、開封後は速やかに使い切ってください。
- ⑧接着・粘着・充填用途以外には使用しないでください。
- ⑨詳細な内容が必要な場合は、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

## ■廃棄の方法

中身を完全に使い切ってから、自治体の指示に従い廃棄してください。

## ■製品形態

製品名	容量	中箱	梱包
BBX 909	135mlチューブ	5本入り	20本入り

## ■法定表示

消防法： 火気厳禁 第四類第三石油類 危険等級Ⅲ

## ■お客様へ

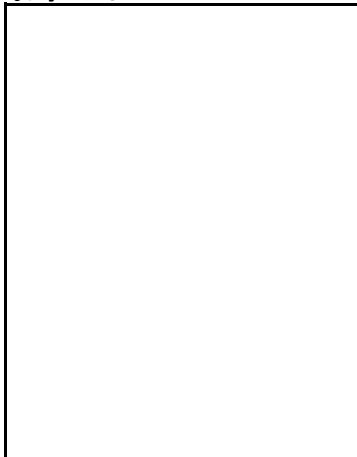
- \*本技術資料に記載の仕様および外観は法の改正や改良などの理由の為、お客様に予告無く変更する場合がありますので、予めご了承ください。
- \*本技術資料に記載のデータや各種事項は当社の信頼する代表的な実験値や調査によるもので、保証値ではありません。
- \*ご使用に当たっては必ず事前に本製品がお客様の使用する目的・用途・条件などに適合するか否かをお客さま自身で責任を持ってご判断の上、ご使用ください。
- \*売主および製造者の責任は不良が証明された場合の製品の交換であり、付帯する事項全てを保証するものではありません。
- \*本技術資料に掲載のデータや各種事項は平成24年3月現在のものです。
- \*輸出の際は、営業担当にご確認ください。

## セメダイン 工業用弾性接着剤シリーズ品のご紹介

製品名	特長
スーパーXNo8008	弾性粘接着剤(標準タイプ)
スーパーXゴールドNo777	弾性接着剤(速硬化タイプ)
スーパーシール	弾性充填接着剤(垂れ止めタイプ)
SX720シリーズ	弾性接着剤(難燃タイプUL94-V0)
SX1000シリーズ	弾性接着剤(放熱・難燃タイプ)
ECA-19	弾性接着剤(導電タイプ)
EP-001K	エポキシ系弾性接着剤(エンブラ用)
BBX 909	弾性粘着剤(永久粘着タイプ)

## セメダイン株式会社

お求めは



本社	〒141-8620 東京都品川区大崎1-11-2	TEL03-6421-7375
東京	〒141-8620 東京都品川区大崎1-11-2	TEL03-6421-7371
大阪	〒542-0081 大阪市中央区南船場1-16-10	TEL06-4964-5330
名古屋	〒464-0026 愛知県名古屋市中種区井上町34	TEL052-781-3173

札幌営業所	TEL011-271-4929	仙台営業所	TEL022-284-6167
北関東営業所	TEL0280-92-9639	広島営業所	TEL082-249-0941
福岡営業所	TEL092-273-2070		

<商品に関してのお問合せ先>

セメダイン(株)接着技術相談センター

フリーダイヤル **0120-58-4929** (10:00~17:00)

土曜・休日・12~13時は除く

ホームページ <http://www.cemedine.co.jp>